

## NEWS LETTER

# 架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

## 一年の前進を礎に、さらなる発展へ

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川 美栄

年度の終わりを迎え、未来への架け橋の歩みを振り返ると、この一年は「前進」と「転換」の年であったと感じています。

4月、みらいカレッジ三島キャンパスを開設しました。これは単なる拠点の増設ではありません。誰もが学び、成長し、社会とつながる権利を持つという私たちの信念を、地域の中で具体的な形として示す取り組みでした。学びの場は特別なものではなく、本来すべての人に開かれるべきものです。その実現に向けた一歩です。

10月には、社会福祉法人光明会との包括連携協定を締結しました。障害福祉は、一つの法人の努力だけで完結するものではありません。志を共有する組織が連携し、社会全体で支える仕組みを築いていくことこそが、持続可能な支援につながります。この協定は、「分断」ではなく「協働」によって未来を創るといふ、私たちの姿勢そのものです。

そして12月、代表・副代表の交代という新体制がスタートしました。長谷川正人は研究活動に専念し、現場の実践を理論として社会に問い直す役割を担います。現場と社会を結び直し、支援の在り方そのものを進化させていくための体制です。

私たちが目指しているのは、単なるサービス提供ではありません。障害のある人が社会の一員として尊重され、学び、働き、地域の中で役割を持って生きていくことが当たり前となる社会です。その実現のためには、現場の実践と理念の両輪が必要です。

未来への架け橋は、これからも現場の職員とともに、目の前の一人ひとりの人生に向き合いながら、同時に社会の在り方を問い続けていきます。

変化の先にあるのは、不確実さではなく、新しい可能性です。私たちはその可能性を信じ、歩みを進めてまいります。

今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



郊外行事：ショッピング・ランチ

今回の郊外行事は、「ゆず庵」でのランチからのイオンモールでショッピング🛍️  
 出発前、買い物リストを作成。前日から皆さん何を買おうか、おやつは何を食べようか😅と、すごく悩まれた様子でした😊



予算2000円の中から、ランチ代を引いた残金でお買い物。作成したリストのメモ用紙を眺めながら、予算内で買い物やおやつを楽しまれました。残念ながら予算が足りず、あきらめた物もあった方もいらっしゃいましたが、事前に話し合いを行ったことで、混乱することなく、落ち着いて過ごす事が出来ました。楽しい時間が経つのはあっという間でしたが、次の日からのお仕事も頑張れそうです♥



行事名：研究論文発表会



少しずつ春の気配が感じられる今日この頃。  
 年度の締めくくりに、三島では研究論文発表会が開催されました。この日までの1年間、コツコツと積み重ねてきた「頑張り」を発表する大切な場です。スーツをビシッと着こなし、やる気は十分。でも、緊張との闘いは避けられません。

たくさんの人の前で話すこと、自分の考えを言葉にして伝えることは、決して簡単なことではありません。それは今日だけでなく、ここに至るまでの道のりも同じ。調べて、悩んで、自分の言葉でどう表現するかを考える日々。時には苦しくて、逃げ出したくなったり、投げ出したくなったりすることもありました。

「やらなきゃいけない、でもうまくいかない」「間に合わないかもしれない」そんな葛藤の連続を、一人ひとりが乗り越えて迎えた今日。その姿は本当にまぶしく応援の声も、笑顔も、涙もあふれる、素晴らしい発表会となりました。

**GET! レジリエンス! ばんざい!!**



## 宇美キャンパス：書初め

今年も、小森先生を講師にお招きしてお習字教室を開催いたしました♡

2026年にちなんだ書初め。何書こう？わかんない？と言われながらも、書き出したら、これでいい？もう一回！などと、皆さん、思い思いの言葉で上手に書かれていました♡



## 利用者紹介

## ～ひとりひとりの物語～

### 三島キャンパス：ベーシックコース KRさん

みらいカレッジに初めて足を踏み入れた日、胸の中にはドキドキとワクワクが混ざり合っていました。

でも、それ以上に「ここで何かが始まる」という楽しみな気持ち強く、前向きな一歩を踏み出すことができました。

通い始めてからは、SSTの授業がとても楽しく、毎回の

学びが新鮮で、仲間と一緒に過ごす時間が楽しみになっています。中でも、余暇活動で訪れた富士急ハイランドは、夢が叶ったような特別な思い出。研究論文発表会に向けて研究基礎の授業に力を入れていて、論文をコツコツと書き進める日々です。職員の方々が努力を見守り、成長を認めてくれることも大きな

励みになっています。困ったときにはすぐに手を差し伸べてくれる安心感もあり、安心して挑戦を続けられています。

タイピングのスピードが上がったり、長い文章が書けるようになったりと、自分でも成長を実感していますし、家族からも「頑張ったね」と声をかけてもらえたことが嬉しかったです。

これからは新しく入ってくる仲間たちに、優しい先輩として接していきたい。そして、真面目でしっかり者、話し上手な大人を目指して、これからもたくさんさんのスキルを身につけていきたいと思っています。



“あの事業所は楽しかった”と言ってもらえるように”

宇美キャンパス 看護師 山下繭子さん



看護師として看護業務をしながら、支援を行っています。

今までは10年間救急病院で働き、その後、内科と訪問看護で勤務しました。その内科でのご縁がきっかけで福祉業界に入りました。きっかけとなったのは、ご家族からの「娘を病院に連れて行ってほしい」という一言でした。

私は、障害がある方にはかかりつけ病院があるものだとてっきり思っていたのですが、実際はそうではなく、大半の方にかかりつけ病院がなく、病院が苦手な方も多いことを入職して初めて知りました。

病院に行くまでの準備、診察、終わった後のフォローなど、ご本人はもちろん、付き添う保護者様やスタッフの方の苦労も目の当たりにしました。その一方で、パニックを起こす方は診療の妨げになると言われたり、婦人科では内診台に乗れないと難しいと言われたりと、障がいを理由に制限される現状も知りました。病院で働いていた際には気づけなかったことの多さに驚きました。

自分がこれまで看護師として経験してきたことが、少しでも役に立つことにつながればという思いから、この仕事を選びました。今は、健康で過ごしてもらいたいという思いが強くなり、今日まで過ごしてきました。



普段大切にしているのは、利用者様の表情、目線、五感の感じ方です。表情は毎日異なります。すぐに表情に出せる方もいれば、変化が分かりにくい利用者様もいます。

表情ひとつでいろいろなことをアセスメントできると感じており、本人の気持ちを少しでも汲み取れたらと思い、一瞬一瞬の表情を見ることを大切にしています。目線を合わせることで、「あれ」「これ」といった指差しの意味が理解しやすくなり、上下から見るとも繊細に見ることができると、表情と目線を合わせた会話を大切にしています。

また、五感の感じ方も一人ひとり異なります。特に重度の方の五感には繊細で、豊かだと感じています。過敏さが刺激となりストレスになることもあるかと思いますが、それもひとつの意思として、自分の五感とは異なる利用者様一人ひとりの感じ方を大切にしています。

以前、グループホームで関わっていた際、健康診断の結果で昨年より著しく視力が低下している利用者様がいました。職員皆で促し、眼科受診を行ったところ白内障と診断され、入院することになりました。

その利用者様にとって、入院も手術も初めてのことで、不安や恐怖心の中、職員が付き添って実施しました。今ではこのキャンパスで、休憩時は毎日ゲームをして過ごされています。その利用者様から「手術は怖かったけど、こんなに見やすくなった」「視界がクリアだよ」と言われたときは、うれしくなりホッとしました。また、あんなに病院が苦手だったのに、「もう目薬がなくなりそうだから眼科に行かない」と今でも報告してくださいます。利用者様の成長していく姿に、とても心が温まりました。まだまだ先のことですが、利用者様たちがご高齢になった際に「あの事業所は楽しかった～」と思い出してくださいませることが夢です。そのために、利用者様やご家族と一緒に、いろいろな経験や挑戦を重ねていきたいと思っています。

～最後に未来への懸け橋を支えてくださっている皆様へ～

日頃より日中活動にご協力、ご支援いただきありがとうございます。

福祉・医療・介護は一括りにされることが多いですが、毎日変化があり、ワクワクさせてくださるのが福祉業界だと働いて実感しました。

将来的に、障がいの有無に関係なく、誰もが医療や介護と関わる時期が訪れます。

私たちが普段楽しんで生活しているように、障がいを持っている方にも今をたくさん楽しんでいただき、将来「あの事業所は楽しかった」と思い出していただける場所になれるよう、支援してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



先日、静岡県富士市にあるグループホーム「ハッピーホームきらめき」さんに、みらいカレッジ三島キャンパスの利用者さんが見学に行かせていただきました。みらいカレッジでは「すまい」について考えるプログラムがあります。

将来の一つの選択肢として「グループホーム」とはどんなところかを実際に見て感じてもらいたいと考え、見学を計画しました。今回、ハッピーホームきらめきさんが見学を快く受け入れてくださいました。

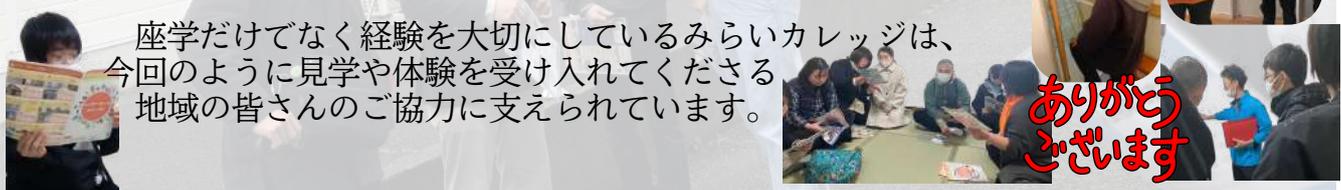
見学時には居室の様子や食事、清掃について、かかる費用の目安などを説明していただき、「一人の時間はありますか？」などの利用者さんからの質問にも、一つひとつ丁寧にお答えくださいました。

今回の見学の目的は、グループホームへの入所を促すことではなく、「将来的な選択肢の一つとしてグループホームを知っておくこと」です。どのような形で利用者の皆さんが自立していくかはそれぞれですが、自立を目指す際の選択肢は多い方がよいのではないかと考え、今回の見学にいたりました。

アパート型のグループホームを見学させていただいたことで、一人暮らしについて考えたり、アパートの中を実際に確認したりすることができ、「すまい」について考えるよい経験になったと思います。

座学だけでなく経験を大切にしているみらいカレッジは、今回のように見学や体験を受け入れてくださる地域の皆さんのご協力に支えられています。

ありがとう  
ございます



## No.9：宇美キャンパス 生涯学習コースN・Mさんご家族

こんにちは。いつもお世話になります。N・Mの母です。

今から14年前、特別支援学校3年生の時に見学に来ました。他の施設も見に行きましたが、ワークセンター宇美（当時）の利用者さんは、みなさん落ち着いて作業を頑張っている姿を見て、娘もこんな風になれたらいいなあと思いました。娘は重度の知的障害および自閉症です。

さまざまなこだわりが強く、娘にできる仕事があるのかと心配していましたが、職員さんが作業風景を動画で送ってくださり、びっくり！ちゃんと頑張っている！！と驚きました。ここまで成長させてくれて感謝しています。課題はたくさんありますが、多くを望まず、娘らしく楽しい人生を歩んでほしいです。



## 三島キャンパス 管理者 中村芙美子



日々の支援に携わる中で、ふと立ち止まり、自分に問かける瞬間があります。オープンキャンパスでみらいカレッジの概要をお話する際、私たちは「福祉の土台の上に教育がある」という考え方をお伝えしています。福祉とは、「ありのまま、そのままのあなたでいい」と受けとめる姿勢。一方で、みらいカレッジの教育観は、「誰にでも伸びしろがあり、時間をかけて丁寧に伝え、経験を重ねることで成長していく」という、引き上げていく視点です。この二つの考え方は、時に矛盾しているようにも感じられます。だからこそ、どうすれば両立できるのか？どのようにアプローチすればいいのか？支援者やご家族と日々語り合い、悩みながら、私たちは模索を続けています。そんな中で、私たちが支援の目標、そして事業所運営の基準として大切にしているのが、「そこに笑顔があるか？」という問いです。

けれども、福祉に偏りすぎても、教育に偏りすぎても、その笑顔が減ってしまうように感じることもあります。「少し頑張れば手が届く」——そんな絶妙なバランスを目指して、日々の支援に取り組んでいます。でも、それは決して簡単なことではありません。なぜなら、利用者の皆さんは、私たち支援者の想像を超えるような葛藤や成長を日々重ねておられるからです。相手は、しっかりと生きている「人間」なのです。そして、私たち支援者もまた、同じ「人間」です。一筋縄ではいかない現実と直面し、心が締めつけられるような思いや、挫折感に襲われることもあります。時には、苦しさや押しつぶされそうになることもある。地域社会の中で、障害のある方々を受け入れることの難しさに直面し、「インクルーシブなんて無理かもしれない」と、心が折れそうになることも、正直あります。それでも、支援者一人ひとりが、毎日、目の前の「その人」の笑顔を信じて、向き合い続けています。その姿に、私は何度も勇気をもらい、支えられてきました。人と向き合う仕事だからこそ味わえる、喜びや感動。そして、決して簡単ではないからこそ、深く心に残る経験。そこに、私たちの支援の本質があるのだと、日々実感しています。

## 各キャンパスおすすめベストショット

### 宇美キャンパス



余暇活動  
ランチ&買い物

### 三島キャンパス



研究論文発表会  
審査員の大学生と一緒に

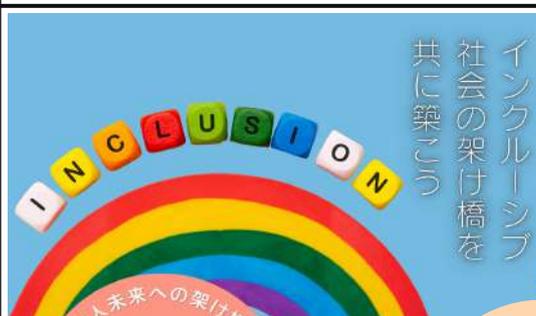
広がる架け橋コミュニティ  
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春、山本真知子、石井真人（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

➤福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

➤会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】

法人	特別会員：10万円
	正会員：5万円
	賛助会員：1万円
個人	特別会員：3万円
	正会員：1万円
	賛助会員：3千円



**入会特典キャンペーン**  
代表理事 長谷川正人の  
著書を1冊プレゼント！

読者の声・アンケート

～架け橋ひろばを読んで～

「架け橋ひろば」をいつもお読みいただき、ありがとうございます。  
皆さまからのご感想やご意見は、私たちにとって大きな励みであり、活動を続ける力になっています。

これからも心に寄り添えるニュースレターをお届けしてまいります。  
よろしければ右のQRコードよりアンケートにご協力ください。  
メールでのご感想もお待ちしております。



[info@miraicollege.com](mailto:info@miraicollege.com)

お知らせ

～講演会・イベント情報～

みらいカレッジでは、下記のお申し込みを受け付けています。  
ホームページまたはメールにてお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先  
[info@miraicollege.com](mailto:info@miraicollege.com)

オープンキャンパス

▷こんな方におススメ  
キャンパスの雰囲気や取り組みをじっくり知りたい方

- ・管理者による概要説明
- ・ご希望に応じて体験授業や個別面談も実施

キャンパス見学

▷こんな方におススメ  
実際のプログラムや利用者の様子を見てみたい方

- ・ご興味のあるプログラムを見学可能
- ・見学後には管理者との個別相談あり

オンライン説明会

▷こんな方におススメ  
日中に時間が取りづらい方、代表理事の話を知りたい方、遠方にお住まいの方

- ・ご自宅から参加可能
- ・理事 長谷川正人より概要説明

理事による出張講演会

▷こんな方におススメ  
長谷川正人理事の想いを直接聞きたい方、団体でのご参加を検討されている方

- ・ご家族・親の会、教育・福祉関係者の皆様
- ・ご希望のエリアでの出張講演

## スケジュール 3月の行事・イベント予定

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。  
 「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでも  
 ご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
1	2	3	4 オンライン 説明会 地域活動 (三島)	5	6	7 オープン キャンパス (三島)
8	9	10	11 オンライン 説明会	12	13	14 余暇活動 (三島)
15	16	17	18 オンライン 説明会 郊外行事 (宇美) 地域活動 (三島)	19	20	21 余暇活動 (宇美)
22	23	24 調理実習 (三島)	25 オンライン 説明会 特別講座 (宇美)	26	27 卒業式 (三島)	28 余暇活動 ビザづくり (宇美)
29	30	31				

### 編集後記

### 広報部より

気づけば3月。来月、架け橋ひろばを発行する頃には、新年度の利用者さんが入所式を迎えます。架け橋ひろばも次号で第12号。刊行から1年になります。広報係として編集をしてきたこの1年、実は毎回楽しみにしていたのは「職員紹介」と「管理者のつぶやき」のコーナーでした。定期的にオンライン会議はあるものの、離れた場所で働く職員の思いや、事業所管理者の考えを改めて知る機会には多くはありません。だからこそ、その言葉はできる限りそのままの形で届けたいと意識してきました。架け橋ひろばは、賛助会員の皆様や関係機関の皆様への発信であると同時に、法人内に向けた社内広報の役割も担っていると感じています。

今回の職員紹介にあった「あの事業所楽しかったな」と振り返ってもらえたらという思い。そして管理者のつぶやきにあった「そこに笑顔はあるか?」という問い。その二つの言葉が印象に残り、今回の編集後記に記しました。

皆様の心にも、架け橋ひろばのどこかの記事が印象に残れば幸いです。



OPEN  
CAMPUS  
お申込み



MIRAI\_COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!  
 一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問  
合  
せ

〒811-2129  
 福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1  
 TEL: 0120-861-821  
 E-Mail: info@miraicollege.com

